

叶あないと
知った

恋





もしかしたら　なんて嘸いて
暑い夜　あなたのこと考えてる
今頃どこで　なにをしてるんだろう
私には到底分からない世界
明日がくれば　なんて呟いて
窓の外　曇った夜空見上げてみる
胸の奥の　大事なとこにしまってる
甘くて　幸せで　切ないたくさんのこと
いつからだろう　好きになって
いつからだろう　こんなにも傍に居てほしい
湿った風に身を委ねて
零れ落ちる感情も　頬を伝い夜に溶ける
胸の中の全部が溢れそうだよ
あなたに見つかっちゃいけないのに
最後に会った日　何を話したのか
その目が　誰のものなのか
思い出したくない欠片が　一本の線になって私の首を絞める
いっそのこと関わりを絶ってしまえばいいのに
優しく微笑むあなたは　世界で1番酷い人
ずっと触れたいと思ってた
その声も髪も指も匂いも全部全部
焦燥を掻き立てては　地に落とす刹那の媚薬
好きって言ってみようかな
あなたの顔を　思い浮かべて
困らせてみたい　私だけを見てほしいの
1日くらいいいでしょう？

その日を過ぎれば 無くなる関係
いつか と思い描いた夢
あなたという未来の旅
本当は終わりなんて 訪れてほしくないよ
笑顔の向こう側にある 違うあなたが知りたい
愛してるの 伝えたいな
湿った風が睫毛を揺らして
私の心を熱くする
見つめる後ろ姿が 今日も愛しいよ
抱き締めたい 抱き締めてほしい
変わりなく あなたが大好き
今話すから 伝えるから
そのまんまの笑顔で 聞いてください



すれ違う瞬間とか
偶然見つけてしまったときとか
遠くで声を聞いたときとか
話し掛けてもらうこととか
あなたの目に 指に 唇に
吸い込まれそうになるの
熱くなった耳も 速くなった脈も
全部あなたへの届かない言葉
消化されない想いが募ってくの
初めて会ったときは 知らなかった気持ち
愛しくて暖かくて
でも私の体の真ん中は締め付けられて
涙が出そうなんだ
大好き
知ってるよ あなたにしちゃいけない
だけどね 絶対止まらないの
溢れる悲しみの涙も
動きだした私の心も
あなたの前だと照れくさくて
全然違う態度だったり
言いたいけれど言えなくて
自分に怒ってみたり
寂しいときに思うのは
決まってあなたのことだから
もういいでしょ 気付いてよ
大好きなんだってば
知ってるよ あなたは近くなんかじゃない
この手どこまで伸ばしたって届かないけど

今度もし2人きりになったなら
小さな声で 告白してみせるよ